



## 平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー

コード番号 6255 URL <http://www.npcgroup.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 雅文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 廣澤 一夫

TEL 03-6240-1206

四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年8月期第3四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	7,213	△34.8	431	55.7	316	7.6	471	—
26年8月期第3四半期	11,057	247.2	276	—	294	—	△4	—

(注)包括利益 27年8月期第3四半期 507百万円 (40.9%) 26年8月期第3四半期 360百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	21.38	—	—	—
26年8月期第3四半期	△0.20	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	10,933	—	5,177	—	—	47.4
26年8月期	12,419	—	4,669	—	—	37.6

(参考)自己資本 27年8月期第3四半期 5,177百万円 26年8月期 4,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,550	△39.2	577	23.4	412	△7.0	537	331.7	24.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期3Q	22,052,426 株	26年8月期	22,052,426 株
② 期末自己株式数	27年8月期3Q	435 株	26年8月期	435 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年8月期3Q	22,051,991 株	26年8月期3Q	22,051,991 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策や原油価格下落の影響で企業収益や雇用環境が改善しており、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、海外景気の下振れ懸念や、円安による物価上昇に伴った個人消費の弱さが、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属する太陽電池業界におきましては、国内需要のみならず世界的にも太陽電池の設置需要が拡大しております。そのため、当社顧客である太陽電池メーカーの工場稼働率は更に向上し、アップグレードによる生産能力向上のみならず、新規装置の設備投資に踏み切る動きが見られます。また、太陽電池の長期信頼性の重要性に対する注目の高まりを背景に、太陽光発電システムのメンテナンスに対する意識がより一層向上しております。

そのような状況下、安定的な生産体制により前期末の受注残を中心に売上計上したことや、部品販売及び新製品である太陽光発電システムの検査装置も業績に寄与しておりますが、一部案件に期ズレが発生したことにより、売上高は計画を若干下回りました。しかしながら、利益面では、費用及び原価の削減が進んだことや部品等の販売が利益率の向上に寄与したことで、ほぼ計画どおりとなりました。また、前々期及び前期に貸倒引当金として処理していた債権の一部を回収できたこと等から、当該金額分の販売管理費が減少したことが利益拡大の要因となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,213百万円（前年同四半期比65.2%）、営業利益は431百万円（前年同四半期比155.7%）、経常利益は316百万円（前年同四半期比107.6%）、四半期純利益は471百万円（前年同四半期は4百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①装置関連事業

装置関連事業においては、前期末の受注残を中心に売上計上したことや、部品販売や新製品である太陽光発電システム関連機器や保守メンテナンスサービスも業績に寄与したものの、一部案件に期ズレが発生したことで、売上高は1,868百万円（前年同四半期比98.5%）となりました。利益につきましては、原価低減等や部品販売が増加したことで売上総利益率を高水準で維持したことに加え、これまでの交渉努力が実り、上述のとおり債権を回収できたことから、営業利益は493百万円（前年同四半期比243.0%）となりました。

#### ②受託加工事業

受託加工事業においては、顧客と取り決めた契約数量を安定的に売上計上しておりますが、契約を締結している2社のうち1社との契約満了により平成26年12月末で生産終了したことから、売上高は5,345百万円（前年同四半期比58.4%）となりました。利益につきましては、生産設備の適切なメンテナンスや作業効率の向上によりロス率の低減等に努める一方で、生産設備の償却等の負荷が影響し、営業利益は217百万円（前年同四半期比61.7%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては10,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,485百万円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

##### (資産)

流動資産につきましては5,165百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,259百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金の増加282百万円、仕掛品の増加111百万円があった一方で、受取手形及び売掛金の減少1,507百万円、原材料及び貯蔵品の減少174百万円があったことによるものであります。固定資産につきましては5,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円の減少となりました。これは主として、建物及び構築物減価償却累計額の増加136百万円、リース資産減価償却累計額の増加161百万円、投資その他の資産のその他の減少150百万円があった一方で、貸倒引当金の減少167百万円があったことによるものであります。

##### (負債)

負債につきましては5,756百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,993百万円の減少となりました。流動負債につきましては5,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,780百万円の減少となりました。これは主として、前受金の増加565百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の減少1,721百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少327百万円、リース債務の減少146百万円があったことによるものであります。固定負債につきましては326百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の減少161百万円、リース債務の減少43百万円があったことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては5,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ507百万円の増加となりました。これは主として、利益剰余金の増加471百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期(平成26年9月1日～平成27年8月31日)通期連結業績につきましては、平成27年4月7日に公表しております「第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」の内容と同一であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,399,381	2,682,139
受取手形及び売掛金	1,946,397	439,143
商品及び製品	66,092	12,942
仕掛品	1,378,091	1,489,783
原材料及び貯蔵品	620,362	446,043
その他	102,847	132,508
貸倒引当金	△87,751	△36,963
流動資産合計	6,425,421	5,165,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,231,287	4,241,369
減価償却累計額	△912,295	△1,048,733
建物及び構築物(純額)	3,318,991	3,192,635
機械及び装置	591,172	587,695
減価償却累計額	△88,564	△95,616
減損損失累計額	△422,352	△422,352
機械及び装置(純額)	80,255	69,726
土地	2,043,719	2,043,719
リース資産	763,520	763,520
減価償却累計額	△292,549	△453,582
リース資産(純額)	470,970	309,937
建設仮勘定	4,409	36,729
その他	249,983	253,067
減価償却累計額	△222,489	△207,448
その他(純額)	27,494	45,618
有形固定資産合計	5,945,841	5,698,367
無形固定資産		
その他	20,379	24,592
無形固定資産合計	20,379	24,592
投資その他の資産		
その他	196,848	46,499
貸倒引当金	△169,022	△1,090
投資その他の資産合計	27,826	45,408
固定資産合計	5,994,047	5,768,368
資産合計	12,419,468	10,933,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,631,136	910,029
短期借入金	3,000,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	652,000	324,285
リース債務	208,264	61,730
未払法人税等	50,693	464
前受金	250,290	815,305
関係会社整理損失引当金	115,410	115,410
その他	302,476	202,499
流動負債合計	7,210,271	5,429,724
固定負債		
長期借入金	161,285	-
リース債務	327,836	284,676
繰延税金負債	16,712	13,467
その他	33,552	28,519
固定負債合計	539,386	326,663
負債合計	7,749,658	5,756,388
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,812,461	2,812,461
資本剰余金	2,734,875	2,734,875
利益剰余金	△912,135	△440,765
自己株式	△431	△431
株主資本合計	4,634,770	5,106,140
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	35,039	71,436
その他の包括利益累計額合計	35,039	71,436
純資産合計	4,669,809	5,177,577
負債純資産合計	12,419,468	10,933,966

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	11,057,272	7,213,877
売上原価	9,968,962	6,265,247
売上総利益	1,088,309	948,629
販売費及び一般管理費	811,448	517,579
営業利益	276,861	431,050
営業外収益		
受取利息	244	319
為替差益	142,492	-
その他	115,510	2,081
営業外収益合計	258,247	2,401
営業外費用		
支払利息	81,456	54,919
貸倒引当金繰入額	126,767	-
支払手数料	18,064	26,379
為替差損	-	5,913
その他	14,387	29,382
営業外費用合計	240,674	116,594
経常利益	294,434	316,857
特別利益		
固定資産売却益	59,401	-
補助金収入	134,184	-
受取補償金	-	160,141
特別利益合計	193,585	160,141
特別損失		
為替換算調整勘定取崩額	483,306	-
特別損失合計	483,306	-
税金等調整前四半期純利益	4,713	476,998
法人税、住民税及び事業税	11,012	8,873
法人税等調整額	△1,952	△3,245
法人税等合計	9,060	5,627
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,346	471,370
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,346	471,370

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,346	471,370
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	364,838	36,397
その他の包括利益合計	364,838	36,397
四半期包括利益	360,492	507,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,492	507,767
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社は、平成27年5月29日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を決議し、平成27年6月10日付で売買契約を締結しました。

①譲渡の理由

当社は、旧本社の老朽化が進んでいることや、今後の事業拡大に向けた業務の効率化を図るため、本社を移転しました。本社移転に伴い、旧本社の土地・建物につきまして、経営資源の有効活用を図るため、譲渡するものであります。

②譲渡資産の内容

所在地	東京都荒川区南千住一丁目36番5号
土地面積	475.10㎡
建物延床面積	867.31㎡
譲渡前の用途	旧本社事務所

③譲渡の相手先の概要

名称	リベステ株式会社
当社と当該会社の関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はなく、関連当事者にも該当しません。

④譲渡の日程

取締役会決議	平成27年5月29日
契約締結日	平成27年6月10日
物件引渡予定日	平成27年9月11日

⑤譲渡価額等

265百万円

⑥損益に及ぼす影響額

当該固定資産の譲渡により、平成28年8月期において、固定資産売却益約96百万円を特別利益として計上する見込みであります。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日) (千円)	前年同四半期比 (%)
装置関連事業	2,198,917	108.3
受託加工事業	5,183,526	55.9
合計	7,382,444	65.3

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
装置関連事業	2,434,281	104.4	1,515,427	43.1
受託加工事業	△1,988,473	—	492,574	4.7
合計	445,807	20.8	2,008,001	14.5

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 受託加工事業の受注高は、製造委託期間内の数量変更、生産スケジュール調整による数量の変更及び原材料単価の変動による売上単価の変更があったことによりマイナスとなっております。

## (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日) (千円)	前年同四半期比 (%)
装置関連事業	1,868,851	98.5
受託加工事業	5,345,025	58.4
合計	7,213,877	65.2

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。